

あすなろ通信

No. **110**

2020.6.1発行

あすなろ保育園後援会

飯田市育良町3-15-2

TEL (0265)23-4656

お花見おにぎり



かっぱ組、初めて自分でにぎったおにぎりを園のテラスで
 食べました。その味は、格別でした。今年も、コロナの影響
 でお花見遠足に行かれましたでしたが、特別な思い出が出来
 ました。

あすなろ
 は **今**

つくし組 (0歳) 3名
 たんぽぽ組 (1歳) 9名
 ひまわり組 (2歳) 13名
 かっぱ組 (3歳) 6名

まゆの 雑記帳

子どもたちの笑顔

子どもたちはいつも真っすぐな心で、いろいろなことに心動かし、目を輝かせて喜んだり、驚いたり、全身で泣いたり、怒ったり思いを表します。私たちは、そんな子どもたちの姿に心が動き、一緒に共感できる瞬間が幸せな一時です。

コロナウイルスの影響で、今まで当たり前にできた保育ができなくなり、家庭にも登園自粛に協力してもらい、3月からの行事も中止や縮小してきました。子どもたちと楽しみたいたいことも今は自粛せざるを得ません。

登園してくる子どもたちの変わらぬ笑顔を見てみると、そんな大変な状況も忘れてしまいますが、忘れてはいけない現実もあります。

保育園は集団の場であり、登園すれば三密を避けるのは難しく、子どもたちの安全、命を守るのか、とても不安な中、保育を続けてきました。

何が最善なのか手探りの中、健康面にも注意を払い、日々消毒に努め、今考える対策をしながらここまでできました。子どもたちの笑顔を守っていききたい。終息に向かうことを願いながら、今できることをやっていきたいと思えます。

おしゃべい

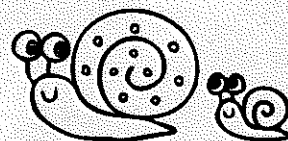
♪あのね



子どもは、見たものを感じたままに言葉や仕草で伝えてくれます。

時に心打たれることもあり「なるほどね～。そうだね～」声をかけると、子どももニッコリ。子どもの世界観っていいなあとと思う瞬間です。

今回は、新年度が始まった、4月下旬の一週間分の特集です。



◎こいのぼりある？

こいのぼりが揚がっていない日にも探すほど気になって仕方ないA、「こいのぼりがいた！」揚がっていると大喜び。こいのぼりが揚がっていない日にも「あ！？」と不思議そうに見ていました。

◎焼きもちかな？

A(11ヵ月)：夕方、進入園児を抱っこしていた保育士にやきもちを焼いたのか、指差しをして次々に遊具をとって欲しいと要求して、受けてもらおうとさらに要求が延々続いた。

◎水の音同じ？

Aが、洗濯機の水の音を聞いていたら、フラ～っとつくしの部屋に行くのでついて行ってみたら、部屋の水道の所を見ていた。(同じ、水の音がすると思ったのかな)

各クラス目標

今年度のクラス目標が決まりました

- つくし組・好奇心、興味関心が膨らんで楽しく過ごせるようにする。
 - ・いろいろなものに出会い、あそびを楽しむ。
- たんぼぼ組・一人ひとりが輝けるたんぼぼさんに！
 - ～心と身体を動かしてたくさん遊ぼう～
- ひまわり組・「みんな」が繋がって広がるひまわりの世界を楽しもう！
- かっば組・一人ひとりの「わ」が広がって大きな「かっばのわ」になる

このクラス目標をもとにお家の方々と一緒に子どもたちの育ちを支えていきたいです。

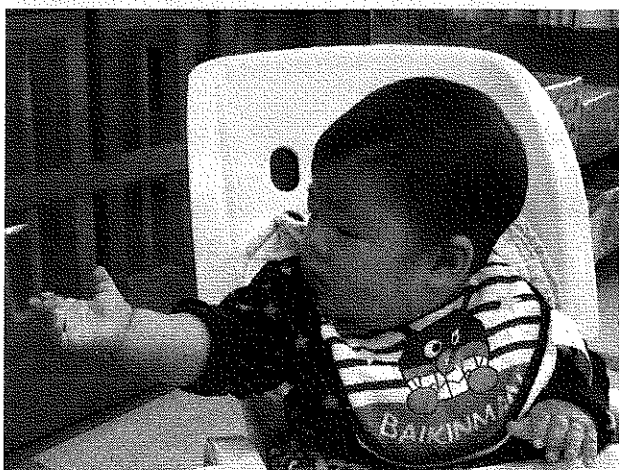


◎壁面のおもちゃ

段ボールを使って作りました。窓を開けると中には写真やシールが貼ってあります。色々な形、大きさの窓の開閉を楽しんでいます。

◎友だち

Aが午前睡から目覚め布団にいと、這い這いが始まったばかりのB(7ヵ月)が這って近づいていきAも近づいて2人で声をあげ笑っておでこを合わせていた。



◎手の動きを見つめる

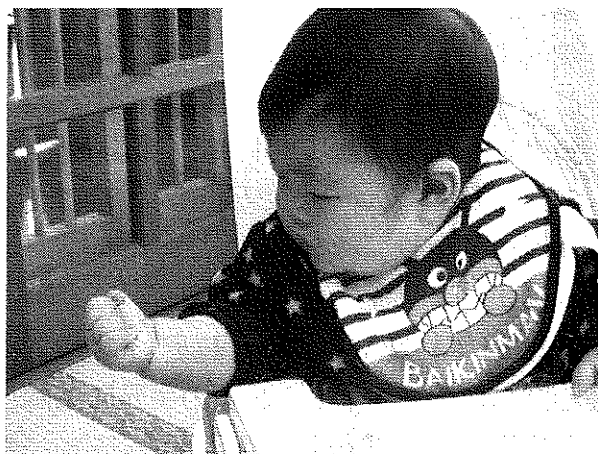
B(7ヵ月):食後「あれ?これは何?」とグーパーとゆっくり動かしてじっと見つめる。

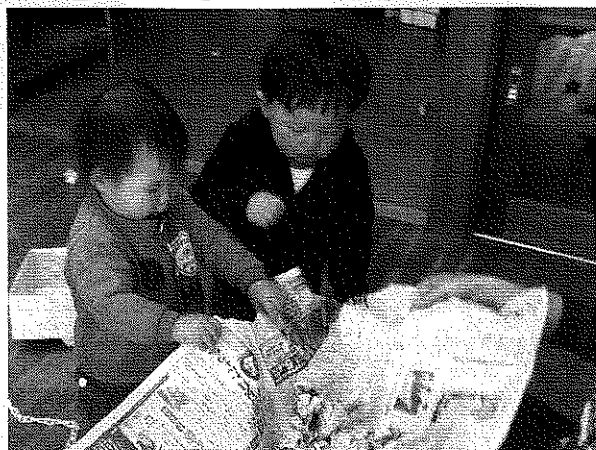
◎音遊び

100円ショップで購入したチェーン、空き缶に入れたり出したりすると、いろいろな音がしておもしろい。



壁から紐が出てくる!
ヒッパレ ヒッパレ





食後に、作ってもらった車でおでかけ

◎新聞紙遊び

丸めた紙をいくつも、新聞紙の上に置いて、「♪大風こ〜いこいこいこい上から下から 大風こ〜い」お友だちやおばちゃん（保育士）たちと歌いながら上下に揺らして、最後は丸めた紙が盛大にとび大喜び！紙を拾ってきて「もう一回」何度も楽しみました。



◎消えた！

小さなペットボトルの中に、水とキラキラビーズが入っているおもちゃを、C（1歳8か月）が振っていると、ビーズの星が沈んでしまい「ない」と言い出す。見ると、キラキラの星が見えない。すると、C「おーい」とペットボトルに呼び掛け、その後振ってみたら…。「でたー」と笑ってみせてくれる。

◎ままごと遊び

EとD：向かい合ってそれぞれ遊んでいたがしばらくすると2人の手元には同じ形のお料理が並んでいた。

◎影に気づいて

D（1歳6か月）：保育士と自分の影を見ていて自分の影を捕まえようと追いかけて走っていた。

◎メ？

E（2歳）：保育士が虫を見つけ「メンメ（虫）いたね」というと自分の目を指差していた。

◎おてぶしやって!

夕方、C(1歳8ヵ月): 両手の拳を目の前に出して見せて

「お!お!」

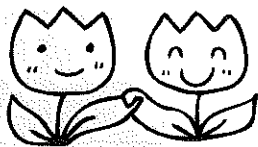
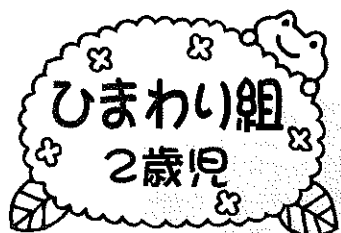
保育士:(♪「おてぶし」のことかなと思
い歌う) 歌が終わると

手を広げてC:「ない」

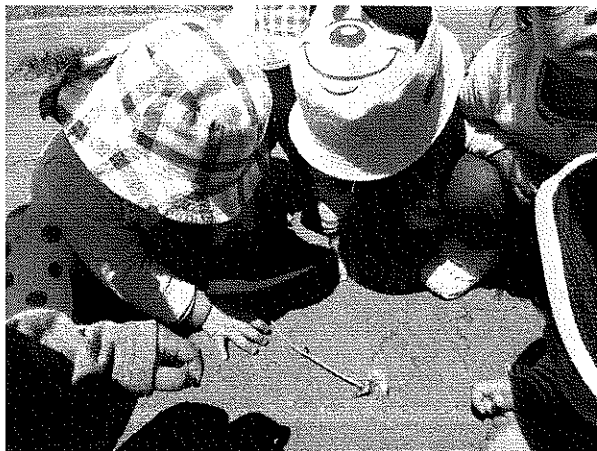
保育士:「こっちにあるよ」と言っても

C:「ない」と知らん顔

その日の夕方は、そのやり取りを何度も
楽しんだ。



【注】「♪おてぶし てぶし てぶしの中に
へびの生焼け カエルの刺し身 いっちょば
こやるから 丸めておくれ いいやっせ ど
〜ちだ!」(手の中に石など隠れるものを片
手に入れて最後のどっちだで入っている手を
当てるわらべ歌)



持っていたたんぼぼに、テントウムシを
這わせてる (ひまわり組)



シートを敷いてお家ごっこ
(シートを敷くといつもの空間がお家に変身)

◎2回目の広報

広報の火災鎮火の放送が流れると

L(2歳8ヵ月):「もいっちょビックリし
た!」(火災発生から12分後の放送だった)

◎新しい空気清浄機から風が出ている
ところへ、

F(3歳)手を伸ばして手を擦り合わせて
いた。(エアジェットにみえるね)

◎鯉

鯉を見てL「おいしそう」

◎散策楽しい

新入園児のK(2歳1ヵ月): 散歩中にあ
ぜ道につくなり花を摘んでそばのフェン
スの穴に落とす。小さな花はスツと落ち
るが、たんぼぼは茎が引っかかって落ち
ない。すると、辞めて別のたんぼぼをとっ
て別のフェンスの穴に入れると落ち、声
を出して遊ぶ。また、繰り返す。

◎探求

朝の庭遊びで、Jは、庭のスロープの手す
りに花びらを落ちないようにバランスを
考えながら置いていた。

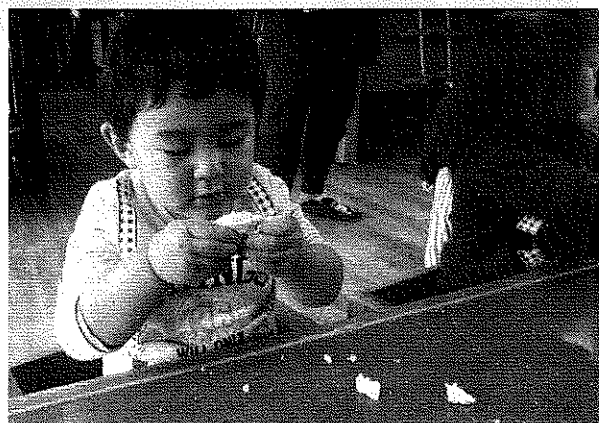
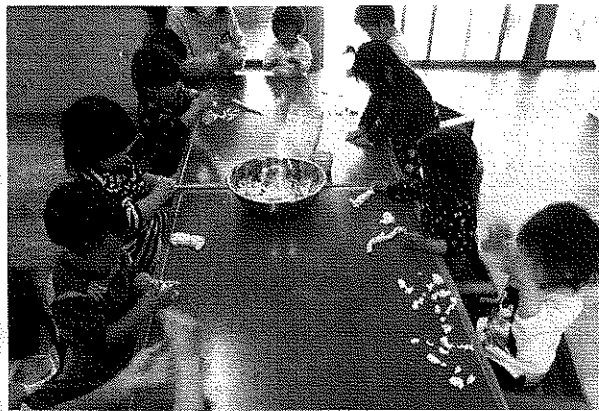
その次に、小石を並べ、今度は息を吹き
かけ落とすことに気付いてそれを繰り返
していた。

◎ケンカしたけど

布の引っ張り合いをして半泣きだったI
(2歳3ヵ月)とJ(2歳5ヵ月)がお互い
「布団をかけたい」という思いだったと分
かると2人で布団をかけて眠った。

☆初めての小麦粉粘土☆

市販の小麦粉に水を少しずつ混ぜ、こねながら、手にくっつかないぐらいになったらOK。べたつくようなら小麦粉を足して作ります。



◎最初はギュと握って

指の間から出るのをじっと見つめ感触を確かめていて、そのうちに机の上で叩いてこねて

G(2歳6ヵ月):「ハンバーグ作るから!!」

向かいの友達がちぎったのも重ねて、たくさんにして

「ハンバーグ!」としばらくやっていた。

そのうちに立って握って

「おしごと、おしごと」

◎ショートケーキを作ってつぶすと

F:「お花になった!」(イチゴが花びらみたい)



◎自分でほっぺにつけて

H(2歳4ヵ月):「絆創膏にするの」「したいの」と遊ぶ。



◎「ブヨーン!こんなに延びたよ
「小麦粉粘土でこねこね、くるくるーい
るんな形になっておもしろいね」

◎朝の自由遊びでの事

J: 柱で「いないいないばあ」をしていてテンションが上がり大声になってしまうが、眠っている子がいたので「シー」と声をかけられても楽しい。

再度、保育士:「シー」と言おうとしたら、先にJ:「シー」。(やられたー)

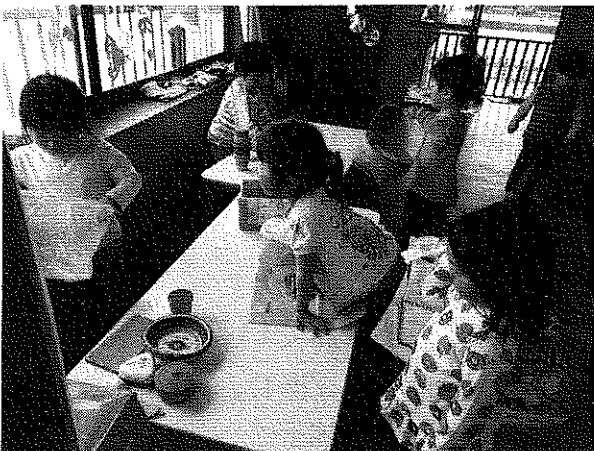
その後、「ばあ!」と2度して逃げて行った。

その隣で同じように「ばあ!」をしていたI:「シー」と言っても最後まで「ばあ」をして楽しんでいた。2人の違いが面白い。



◎ままごと①

紙に色ガムテープやビニールテープを巻いて、野菜やアイスなどいろいろな物を作ってままごと遊びを楽しんでいます。保育士が作っていると「次はトマト作って」とリクエストしたり、自分でもテープを巻いて作るなどして遊んでいます。



◎ままごと②

テーブルの上にコップやお皿を並べて「いらっしゃいませ」とお店屋さんが始めると、袋をたくさん持ったお客さんが買いに来ます。店員さんは「ケーキです」とケーキとジュースのセットを渡してくれました。

◎鯉のぼりを出した日に

・嬉しくてたまらなかったようで
M(3歳8ヵ月):「ハッピーバースデー
たいましょ！」

・鯉のぼりのお腹が大きく膨らんだら
P(3歳4ヵ月):「ボールみたい」
・鯉のぼりがぶつかりながら泳いでいる
のを見て

N(3歳7ヵ月):「けんかしながらとんどる」

◎おやつ中 庭を見ながら

Q(3歳11ヵ月):「あめふってる？」

保育士:「雨ふってないよ」

Q:「さくらふってる」

◎田起こし後に水が入り始める様子を見て

R(3歳7ヵ月):「迷路みたいだね」

◎日に焼けた？

保育士:「顔が黒くなった？」

M: 照れながら「う〜んとんねえ。チョコ
コたべたんだよ〜」

◎早番で帰る職員に

P:「また、会いましょう」

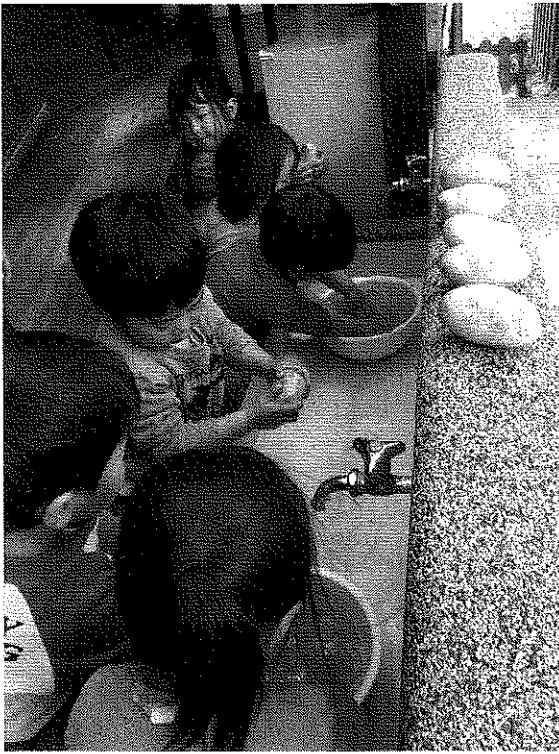
◎新入園児の顔が在園児の兄弟と似ている
と思って

M: Bを初めて見た日に「おなじ顔」「S
ちゃんと」



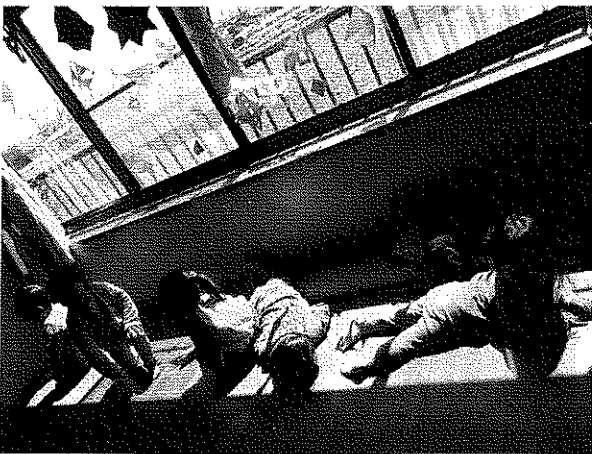
◎ままごと③

お店でケーキセットを買ってくると、牛乳パックで作ったソファに座ってケーキをパクリ! 「もう食べましたか？」と店員さんが片付けにきていました。



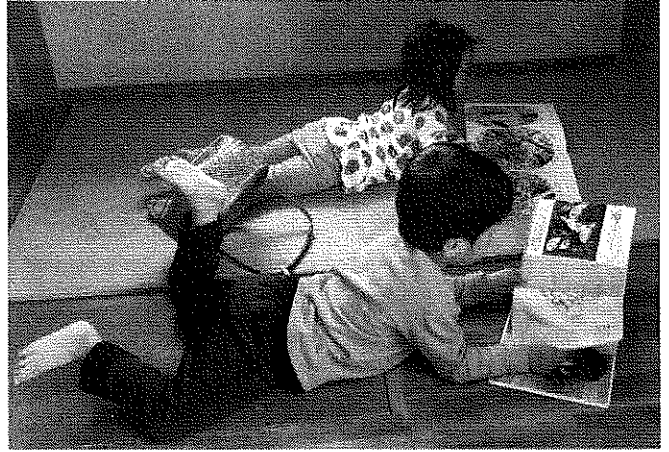
◎給食さんのお手伝い

今日のおやつは芋もち。「忙しいから手伝って」という給食さんのお願いに、かっぱ組も張り切って、お芋洗いのお手伝いをしました。みんないい手つきでお芋についた土をきれいにしてピカピカのお芋が並びました。



◎窓からの光が細長くなっていると

N:「ミニ電車でーす。」
 するとかっぱ組みんなが乗って寝転がる。
 保育士:「どこいきますかー？」
 子ども達:「北方公園でーす。」



◎のんびり絵本タイム

食後や午睡明けの時間に、自分の好きな絵本を選んで見るのを楽しんでいます。

◎保育士が廊下の下を見ていると

(ポーっとしていると思ったのか)

M:「ゆめみてるの？」

◎赤い鯉のぼりが引っかかっているのを見て

M:「お母さん 休んでいるのかな」

保育士:「どうしたのかなあ」

M:「つかれたんじゃない」

◎大発見!

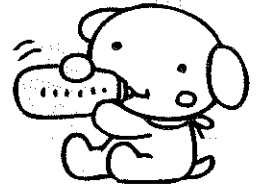
おままごと中、M:「お茶の実ってお茶と同じじゃん!」と大喜び。

◎側溝を覗いていて

N:「ながれてくるよ!」

保育士:「なにが？」

N:「声が流れてくるの」



◎ネギ坊主が並んでいるのを見て

O(3歳3ヵ月):「あれ、なあーに？」

保育士:「ネギだよ」

O:「ネギマンか〜!! かわいいねえ」

◎土曜保育中の買い物ごっこ

L:「お買い物に行って来るね」

N:「マスクしてかんと」

L:「くつは？」

N:「くつもはいてかんと」





お家で作ろう!! あすなろのおやつ

お家で過ごすことが多くなった近頃ですが、その時間を上手く活用して子どもたちと一緒におやつを作りませんか?園でも好評なメニューをいくつかご紹介します。少々手間がかかるものもありますが、親子で楽しく作って保育園のおやつを味わってみてください。

☆おはぎ

【材料】
(子ども1人分)

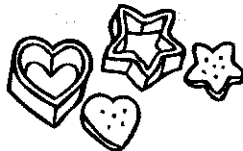
- うるち米 … 10g
- もち米 …… 20g
- 塩 …………… 0.1g
- きな粉 …… 2.0g
- 砂糖 ……… 1.0g
- ごま ……… 3.5g
- 砂糖 ……… 1.5g

【作り方】

- 1、もち米とうるち米を2:1の割合で計り、一緒に洗い炊く。
- 2、炊きあがったお米に塩少々を加え、すりこぎでつぶす。
- 3、きな粉・ごまは、それぞれ砂糖と混ぜておく。
- 4、2のごはんを丸め、きな粉・ごまにそれぞれをまぶして、出来上り!

※つぶしたごはんをお団子状に丸めたり、きな粉やごまに転がすお手伝いができます。また普通に炊いたごはんを、おにぎりにしてきな粉をまぶすだけでもおいしく食べられます。

☆クッキー



【材料】
(30枚分)

- 小麦粉 … 300g
- 砂糖 …… 60g
- バター … 100g
- 卵 ……… 1個

【作り方】

- 1、小麦粉はふるう。バターは常温にして柔らかくしておく。
- 2、ボールにバターと砂糖を入れよく混ぜる。混ぜたら卵を加えさらによく混ぜ、まとめる。
- 3、2に小麦粉を加えよく混ぜ合わせ生地の完成。平らな台に小麦粉を少量振って、のし棒で生地を薄く伸ばし、型抜きする。
- 4、170-180℃に熱したオーブンで20分くらいを目安に焼く。

※のし棒で伸ばさず、自分で好きな形を作っても楽しめますよ!

あすなろの予定

- 7月 5日 大掃除
- 7月31日 夏まつり



【お知らせ】

今年度の運動会は、新型コロナウイルスにより残念ながら中止となりました。

◆子ども達のがのびのびと育つよう応援して下さい◆ あすなろ後援会にぜひご参加を!

主な活動

- ◎より多くの人にあすなろのことを知らせ、理解者を増やします。
- ◎より良い保育ができるよう職員、父母と一緒に、保育運動をすすめます。

会費

年間(4月~翌年3月まで) 1口…3000円(何口でも) 通信費、活動費などに使います。

【振込み先】 飯田信用金庫切石支店 ① 1520079

あすなろ後援会 佐々木俊之

親子の健康

不要不急？

健和会病院小児科 和田 浩

新型コロナウイルスの流行で、小児科にかかる患者さんは激減しています。みんなが外出を控えているために、ほかの病気もあまり流行していないという面もあるでしょう。

また、子どもの病気の多くは自然に治るので、「このくらいで病院に行くのはやめておこう」と様子を見ているうちに治ってしまうということもあると思います。

でも、特に一人目の子どもが初めて熱を出したといった場合、「どのくらいになったら病院に行った方がいいのか」というのはなかなかわからなくて当然です。

「元気でいっぱい飲んでいればあわなくても大丈夫」なのですが、「この程度を『元気がある』『おっぱいは飲んでいる』と言えるのかどうかがよくわからない」ということもよくあります。

こういう時、多くのお母さんがネット検索するのですが、ネット情報では怖い病気がたくさんでてきて、どんどん不安になるばかりということがよくあります。

やはりかかりつけで実際に診てもらって、「この子の今の状態は大丈夫」「この子がこんな風になったらまたかかって」といったことを、直接教えてもらうのが一番です。

自然に治るとしても、親が不安だと子どもも不安になってしまいます。「ちゃんと診てもらったから大丈夫」と安心していられることは、子どもにとって大事なことです。これは決して「不要不急」ではないのです。

もちろん地域のコロナ流行状況によって変わってきますが、今小児科の多くが、しているし、感染対策にはかなり気をつけています。それでも受診は心配というなら、まずは電話で相談してはどうでしょうか。

編集後記

◆コロナのためにフェスタをはじめ予定していた人形劇の上演はすべて中止、出番なし。子どもまつりも、旅行もダメ。小屋泊まりの登山はあきらめ今年の日帰りの里山歩きかな。「山は逃げない」って言ったって、この歳になると体力のほうは逃げていってしまうけど…。㊟

◆8歳の息子から言われた突き刺さる一言集。「コロナでまた休校。最悪だね！」と言ったら、「お母さんがでしょ?」。TVで「コロナに自分になっても別にいい」と言ってパチンコ店に来ていた若者に「大切な人のいないさみしい人だね」。㊠

◆豊丘村へ転居しての新生活がスタート。いきなり休校となってしまいました。娘はあ

すなる保育園で同級だったお友だちに声を掛けられ喜んでいました。㊡

◆PTAの副会長を務めることになりました。あすなる保育園で保護者会長をさせていただき、違う視点から子どもを見る楽しさを知った気がします。親から離れるまでは目に焼き付けておきたいです。㊢

◆いつの時代もこどもたちのつぶやきは、私たちの心をポカポカと暖めてくれます。こんな時期でも変わらず、心のままにの〜びのび、おしゃべりしてほしいです。㊣

◆大好きなベーグル(パン)をGW中3回も焼きました。初めての時、オーブンをのぞいて、焼けるかなー、大丈夫かなーとワクワクドキドキ。上手に焼けて感動しました。㊤